

報告事項3. 2019年度事業計画

●循環器学の研究及び振興を目的とする事業

(1)研究会・学術講演会の開催事業

1. 第84回日本循環器学会学術集会(JCS2020)

- ① 会期：2020年3月13日(金)～15日(日)
会長：木村 剛(京都大学循環器内科)
会場：国立京都国際会館, グランドプリンス京都
メインテーマ：Change Practice !!
- ② プログラム
 - ・一般演題
(口述, ポスター, Featured Research Session)
 - ・美甘レクチャー
 - ・真下記念講演
 - ・特別講演
 - ・会長講演
 - ・プレナリーセッション
 - ・シンポジウム
 - ・会長特別企画
 - ・ジョイントシンポジウム
(AHA, ACC, ESC, CSC, KSC, APSC)
 - ・ラウンドテーブルディスカッション
 - ・トピック
 - ・コントロールバー
 - ・ミート・ザ・エキスパート
 - ・モーニングレクチャー
 - ・Late Breaking Clinical Trials
 - ・Late Breaking Cohort Studies
 - ・循環器教育セッション
 - ・日本心臓財団佐藤賞記念講演
 - ・2018年度採択医師臨床研究助成およびメデイカルスタッフ研究助成報告
 - ・審査講演会
YIA Clinical research部門審査講演
YIA Basic research部門審査講演
国際留学生YIA審査講演
コメディカル賞審査講演会
 - ・ガイドラインに学ぶ
 - ・各委員会セッション・セミナー
海外留学ネットワークキングセミナー
留学支援助成報告会
禁煙推進セミナー
日本循環器学会蘇生科学シンポジウム
脳卒中と循環器病克服5カ年計画
シンポジウム
 - ・倫理に関する講演会
 - ・医療安全に関する講演会
 - ・Circulation Journal Award Session
 - ・チーム医療セッション
- ③ プレレジストレーション
学術集会参加者向けに, 参加登録, 教育セッション, ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションを行う。
- ④ 印刷物・製作物
第84回学術集会関連の印刷物・制作物として, プログラム集, 電子抄録アプリ, 教育セッションテキスト, 企業展示ガイドブック, ピンバッジ, 英文パンフレットを製作する。
- ⑤ My Abstracts
演題抄録・チーム医療セッション抄録・共催セミナー抄録を検索し, 必要な演題の抄録だけを収録したオリジナル抄録集や日程表が作成できるサービスをWEB版とアプリ版で行う。
- ⑥ トラベルグラント
海外からの演題採択者への補助として筆頭著者にトラベルグラントを支給する。支給金額は, アジア近隣諸国は5万円, その他の国は10万円とする。
- ⑦ 発表データプレエントリー
学術集会発表スライドを会期前にWEBサイトで事前アップロードするための「発表データプレエントリーシステム」を公開する。
- ⑧ 託児室
学術集会会期中に参加者に対して英語対応可能な託児室を設置する。
- ⑨ 日本循環器学会ブースの出展
第84回学術集会の期間中, 展示会場にて学会活動紹介のためのブースを出展する。
- ⑩ 学会賞
以下の賞に関して, 受賞者を決定する。
 - 第45回日本心臓財団佐藤賞
 - 第37回YIA Clinical research部門審査講演
 - 第37回YIA Basic research部門審査講演
 - 第28回CPIS賞
 - 第18回国際留学生Young Investigators Award
 - Circulation Journal Awards for Volume 83, 2019
 - Circulation Journal Asian Award for Volume 83, 2019
 - Best Reviewers Award for 2019
 - 第15回心臓血管外科賞
 - 第15回小児循環器賞

第14回循環器再生医科学賞
第13回女性研究者奨励賞
第10回コメディカル賞
第9回循環器臨床研究奨励賞
第7回循環器イメージング賞
日本心臓財団・日本循環器学会2019年「心臓」賞

2. Asian Pacific Society of Cardiology Congress 2020 (APSC2020)

第84回日本循環器学会学術集会と合同開催

- ① 会期：2020年3月12日(木)～14日(土)
会長：赤阪 隆史(和歌山県立医科大学循環器内科)
会場：国立京都国際会館, グランドプリンスホテル京都
メインテーマ：Evolution and Collaboration
- ② プログラム
・一般演題(口述, ポスター)
・Case Competitions (Best image, Success Case, Bail Out Case etc.)
・Joint Symposia with sister's societies
・Joint Symposia with International Societies 等
- ③ トラベルグラント
アジアからの演題採択者への補助として筆頭著者にトラベルグラントを支給する。

3. 第3回基礎研究フォーラム (JCS Council Forum on BCVR)

- ① 会期：2019年9月6日(金)～8日(日)
会長：福田 恵一(慶應義塾大学循環器内科)
会場：東京コンベンションホール
メインテーマ：Science drives Medicine
- ② プログラム
Keynote Lecture, Sponsored Symposium, Award Session, Poster Award Session, 基礎研究助成セッション
- ③ Travel Award
海外から参加し発表を行う筆頭著者を対象に審査のうえ, 最大20名までTravel Awardを授与する。
- ④ 製作物
抄録集

4. 日本循環器学会地方会

- ① 第121回北海道地方会
会期：2019年6月22日(土)
会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)
会長：安斉 俊久(北海道大学 循環病態内科学)
- ② 第122回北海道地方会
会期：2019年11月23日(土)
会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

- 会長：紙谷 寛之(旭川医科大学 心臓大血管外科学分野)
- ③ 第168回東北地方会
会期：2019年6月1日(土)
会場：盛岡地域交流センターマリオス(盛岡市)
会長：渡邊 博之(秋田大学 循環器内科学)
 - ④ 第169回東北地方会
会期：2019年12月7日(土)
会場：仙台国際センター(仙台市)
会長：下川 宏明(東北大学 循環器内科学分野)
 - ⑤ 第252回関東甲信越地方会
会期：2019年6月15日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：小林 欣夫(千葉大学 循環器内科学)
 - ⑥ 第253回関東甲信越地方会
会期：2019年9月28日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：松本 直也(日本大学 循環器内科学分野)
 - ⑦ 第254回関東甲信越地方会
会期：2019年12月7日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：鈴木 洋(昭和大学藤が丘病院)
 - ⑧ 第255回関東甲信越地方会
会期：2020年2月22日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：藤田 英雄(自治医科大学附属さいたま医療センター)
 - ⑨ 第138回北陸地方会
会期：2019年6月30日(日)
会場：金沢大学医薬保健学域医学類(金沢市)
会長：阪上 学(金沢医療センター 循環器内科)
 - ⑩ 第154回東海・第139回北陸合同地方会
会期：2019年10月19日(土)～2019年10月20日(日)
会場：金沢商工会議所会館(金沢市)
会長：竹村 博文(金沢大学 先進総合外科)
 - ⑪ 第153回東海地方会
会期：2019年6月29日(土)
会場：ウインクあいち 10階, 11階会議室(名古屋市)
会長：伊藤 正明(三重大学 循環器・腎臓内科学)
 - ⑫ 第127回近畿地方会
会期：2019年6月22日(土)
会場：京都テルサ(京都市)
会長：的場 聖明(京都府立医科大学 循環器内科学)
 - ⑬ 第128回近畿地方会
会期：2019年11月30日(土)
会場：大阪国際会議場(大阪市)
会長：是恒 之宏(大阪医療センター)
 - ⑭ 第114回中国・四国合同地方会
会期：2019年6月8日(土), 9日(日)
会場：レクザムホール(香川県民ホール)(高松市)
会長：山田 博胤(徳島大学 地域循環器内科学)
 - ⑮ 第115回中国地方会
会期：2019年11月30日(土)
会場：JMSアステールプラザ(広島市)
会長：榎野 新(労働者健康安全機構 中国労災病院)

- ⑫ 第115回四国地方会
会期：2019年12月7日(土)
会場：高知市文化プラザかるぼーと(高知市)
会長：川井 和哉(社会医療法人近森会 近森病院)
- ⑬ 第126回九州地方会
会期：2019年6月29日(土)
会場：宮崎市民プラザ(宮崎市)
会長：中村 都英(宮崎大学 心臓血管外科学分野)
- ⑭ 第127回九州地方会
会期：2019年12月7日(土)
会場：久留米シティプラザ(久留米市)
会長：福本 義弘(久留米大学 心臓・血管内科部門)

5. 地方会抄録検索システム

地方会症録オンライン検索システム「症例くん」に、過去の地方会抄録データを登録する。

(2)学会学術誌「Circulation Journal」「Circulation Reports」の刊行事業

- ① 「Circulation Journal」刊行事業(2019年度刊行：Vol83-5～Vol84-4)
Vol83-12迄紙媒体発刊をし、Vol84-1以降完全オンライン化での刊行事業を行う。また、ガイドライン部会と協働し、日本語版と同時に英語版ガイドライン掲載を行う。
- ② 「Circulation Reports」創刊事業(2019年度刊行：Vol1-4～Vol2-3)
完全オンライン発行する。Circulation Reports独自の論文種別(Brief Report, Statement/Opinion Articles, Protocol Paper)をはじめとした、新規投稿およびCirculation JournalからReject with Transfer等から論文投稿を受け入れ、オンラインジャーナルの特性を生かし、採択から公開迄スピーディに対応する。
- ③ 質の向上のための事業
Circulation Journalは、Impact Factorの向上を目指す為、国内拡大編集会議を学術集会開催期間中に開催し、Associate Editor, Editorial Boardのメンバーを招待し、議論を行う。また、Citation Noticeメール等を活用する。Circulation Reportsは、2019年度内のPubmed公開を目指し、質の高い論文投稿を受け入れる環境を整える。
また、渉外(国際)委員会と協働し、海外国際学会でのCJ/CRプロモーションを実施し国外から幅広く投稿呼掛けを行う。
- ④ 二次使用・広告料収入に伴う事業
完全オンライン化移行にともない、新たな広告掲載方法の構築する。

(3)学術研究助成事業

1. ガイドライン事業

- ① ガイドライン誌発刊
 - ・2018-2019年度年度活動ガイドライン(2018年度発表)
 - 1) 川崎病心臓血管後遺症の診断と治療に関するガイドライン(2019年改訂版)(班長：小林 順二郎/深澤 隆治)
 - 2) 大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン(2019年改訂版)(班長：荻野 均)
 - 3) 不整脈の薬物治療ガイドライン(2019年改訂版)(班長：小野 克重)
 - 4) 弁膜疾患の非薬物治療に関するガイドライン(2019年改訂版)(班長：江石 清行/泉 知里)
 - ・2019年度年度活動ガイドライン(2019年度発表)
 - 1) 心アミロイドーシス診療ガイドライン
 - ・2019-2020年度年度活動ガイドライン(2020年度発表)
 - 1) 循環器疾患における緩和ケアについての提言(2020年改訂版)(班長：安斉 俊久)
 - 2) 重症心不全に対する植込み型補助人工心臓治療ガイドライン(2020年改訂版)(班長：小野 稔/山口 修)
 - 3) 循環器診療における放射線被ばくに関するガイドライン(2020年改訂版)(班長：上妻 謙)
 - 4) 循環器超音波検査の適応と判読ガイドライン(2020年改訂版)(班長：大手 信之)
 - 5) 心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン(2020年改訂版)(班長：牧田 茂)
 - 6) 先天性心疾患、心臓大血管の構造的疾患(Structural heart disease)に対するカテーテル治療のガイドライン(2020年改訂版)(班長：坂本 喜三郎/河村 朗夫)
- ② 英訳版
 - 1) 心臓サルコイドーシスの診療ガイドライン(班長：寺崎 文生)
 - 2) 肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン(班長：伊藤 正明)
 - 3) 心疾患患者の妊娠・出産の適応、管理に関するガイドライン(班長：赤木 禎治/池田 智明)
 - 4) 安定冠動脈疾患の血行再建ガイドライン(班長：中村 正人/夜久 均)
 - 5) 心筋症診療ガイドライン(班長：筒井 裕之/北岡 裕章)

- 6) 先天性心疾患並びに小児期心疾患の診断検査と薬物療法ガイドライン(2018年改訂版)(班長:安河内 聡)
- 7) 不整脈非薬物治療ガイドライン(班長:栗田 隆志/野上 昭彦)
- 8) 慢性冠動脈疾患診断ガイドライン(班長:山岸 正和/玉木 長良)
- 9) 川崎病心臓血管後遺症の診断と治療に関するガイドライン(班長:小林 順二郎/深澤 隆治)
- 10) 大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン(班長:荻野 均)
- 11) 不整脈の薬物治療ガイドライン(班長:小野 克重)
- 12) 弁膜疾患の非薬物治療に関するガイドライン(班長:江石 清行/泉 知里)
- 13) 心アミロイドーシス診療ガイドライン
- ③ ガイドラインフォーカスアップデート発刊
 - 1) 肺高血圧症治療ガイドライン(班長:福田 恵一)
- ④ 図表の転載申請の許諾
営利目的の制作物への図表転載申請を受け付け、転載許諾料を申し付ける。(※但し医学書については無料とする。)

2. 基礎研究, 医師臨床研究助成およびメディカルスタッフ(医師の除く医療専門職)研究助成

2016年12月16日に制定された脳卒中と循環器病克服5カ年計画に基づき, 5戦略の1つとして策定された人材育成を強化するために今後活躍が期待される若手基礎研究者5名に「基礎研究助成」, 若手医師研究者最大3名に「医師臨床研究助成」とメディカルスタッフ最大3名に「メディカルスタッフ研究助成」を贈呈する。

3. 留学支援助成

学術集会の発展・医学研究の振興を願って, 海外留学する循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者の経済的支援を目的に1件の留学支援助成を行う。

(4)登録・解析事業

1. 臨床効果データベース

各施設における拡張の検討を継続する。

2. 循環器疾患診療実態調査(JROAD)

- ① データ収集を行う。
- ② DPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する事業
JROAD-DPCの運用を行う。研修・研修関連施設のDPC病院を中心にDPCデータの収集を行う。参加施設の増加, 調査項目の見直しも検討する。

③ 公募事業

JROAD, JROAD-DPCデータを利用する研究公募を行い, データ提供の対価を研究者より受領する。

④ 事業モデルの確立

JROAD, JROAD-DPC事業継続のため, 企業に対しても有償でデータ提供を行うことを前提に企業との共同研究(コンソーシアム設立)や報告書を取りまとめることについて, 企業に向けてヒアリングや説明会の開催を検討する。

3. BPA施設認定レジストリー登録

BPAの適応と実施に関するステートメントに沿って, 認定施設, 実施医, 指導医の基準策定が関連学会との合意を受け, レジストリー登録を行う。

4. 心原性ショックに関するレジストリー

心原性ショックに関するレジストリーで登録されたデータの検証を行い, 心原性ショックの転帰を改善させる対応を探究し, 解析結果の論文化を行う。

5. ウツタインレジストリー

消防庁救急蘇生統計(ウツタイン調査)データの検証を行い, 蘇生科学と救急心血管治療に対する研究を世界に向け, 論文・発表を展開して行く。

6. MitraClipレジストリー

MitraClip適正使用のためのレジストリー登録を行う。

7. Watchmanレジストリー

Watchman適正使用のためのレジストリー登録を行う。

8. ビンダケルレジストリー

トランスサイレチン型心アミロイドーシス症例に対するビンダケル適性投与のための施設要件, 医師要件に関するステートメントに沿って, 認定施設, 実施医の審査を行いレジストリー登録を開始する。

(5)交流事業

1. 国内交流

- ① 「日本循環器連合」設立に向けて, 各学会とリーダーシップミーティングを開催し議論を行う。
- ② ICD-CRT研修制度協議会の運営を行う。
- ③ 日本糖尿病学会と連携活動を予防委員会内にワーキンググループにおいて行う。
- ④ ステントグラフト実施基準管理委員会へ,

実施基準に関する協議会(11学会)の1学会として参加する。

- ⑤ 循環器系のコメディカル関係学会とのジョイントセッションを双方の学術大会で開催する。
- ⑥ 医療放射線防護連絡協議会に理事を派遣する。

2. 国際交流

- ① 海外学会(AHA, ESC)へブース出展を行う。また, KSCへ初めてブース出展を行う。
- ② 各海外団体(ACC, AHA, CSC, ESC, KSC, APSC)とのジョイントシンポジウムを開催し, 協議の機会を設け, 関係を深める。
- ③ 国際留学生YIAの公募を行い, 第84回学術集会で審査講演を行う。
- ④ 海外留学ネットワークセミナーを企画し, 留学を希望する若手医師の交流の場を設ける。
- ⑤ アジアからの学術集会参加者が増えるよう, 各団体への広報を強化する。
- ⑥ APSC2020を開催する。また, WCC2021招致の交渉を行う。

(6)循環器学用語の検討

- ① 循環器学用語集の全面改訂
循環器学用語集第3版の全面見直し作業を実施中。関連学会等にも協力をお願いし, 大規模改定を行う予定である。
- ② 国際疾病分類(ICD)の改訂
WHO, 厚生労働省から依頼を受け, ICD-11の英訳を用語集改定作業と併せて実施中。また, 検討会等に委員を随時派遣。

●循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

(1)循環器専門医事業

1. 専門医制度事業

- ① 第30回循環器専門医資格認定試験を実施する。
筆記試験日: 2019年8月18日(日)
会場: パシフィコ横浜(神奈川)・梅田スカイビル(大阪)
- ② 循環器専門医資格の更新審査を行う(対象3,501名予定)。
- ③ 新しい単位受付ツールを本格的に導入する。
- ④ 新しい規定に則った地方会運営を行う。
- ⑤ 『循環器専門医』の発刊ならびに今後の発刊についての検討を行う。

2. 新専門医制度に伴う事業

- ① 症例登録システム(循環器J-OSLER)の構築・運営を行う。
- ② 新専門医制度に対応した施設指定審査および

び指定施設の公表を行う。

- ③ 関連する領域と連動した制度の構築・運営を行う。

(2)循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. セミナー

- ① 第15回循環器専門医を志す研修医のための卒業セミナー
主に研修医を対象に, レクチャー・グループ討論などを通じて循環器学の面白さを伝えるセミナーを開催する。
- ② 第5回臨床研究デザインと統計解析合宿
若手から中堅の医師を対象に, 臨床疫学及び臨床統計学のスキルアップを目的とした講義やハンズオン, グループワークを組み合わせて実践的な知識が身に付く内容の研修合宿を開催する。
- ③ JCS-ITC(日本循環器学会国際トレーニングセンター)AHA心肺蘇生法コース
次の各講習会を全国で開催する。
 - ・AHA BLSプロバイダーコース
 - ・AHA ACLSプロバイダーコース
 - ・AHA ACLS EPプロバイダーコース
 - ・AHAハートセイバー-CPR AEDコースまた, インストラクター養成のため次の各講習会を開催する。
 - ・AHAコアインストラクターコース
 - ・AHA BLSインストラクターコース
 - ・AHA ACLSインストラクターコース
 - ・AHAハートセイバーインストラクターコース
 - ・AHA ACLS EP インストラクターコース
- ④ PCASセミナー
「心拍再開後ケアの標準化とチーム医療」をテーマに, 医師, 看護師等コメディカルを対象としたチーム医療について学ぶセミナーを開催する。2019年8月17日(土)及び8月18日(日)にパラマウントベッド 東京(本社)ショールームで開催する。
- ⑤ コメディカルセミナー
メディカルプロフェッショナルを対象とした教育セミナーを開催する。
横浜, 大阪の全2講演で夏季に開催し, 毎回盛況を頂いている。
- ⑥ 心不全療養指導士資格
資格創設に向けて検討を進める。2021年開始予定。

2. 教材

- ① 教育研修用e-ラーニングシステムの構築
会員の知識・技能の向上を目的に, 教育研修e-ラーニングのコンテンツを充実させ

る。昨年度、目標の200タイトルに到達したため、今後はメンテナンスを中心に行う。

- ② 学術集会DVD、教育セッションDVDの製作・販売
第83回学術集会で開催されたセッションを、より多くの医師が視聴研修することを目的に、セッションを収録したDVDの製作・販売を行う。

3. ダイバーシティ推進に関する事業

- ① 多様な世代、職種、留学生、学会などが交流し、互いの理解、進歩を考える場を設け、発展していくための活動を行う。
- ② Travel Award for Women Cardiologists
本会の女性会員のキャリア支援を目的として、国際学会(ESC, AHA)において女性筆頭者が発表する優秀演題を顕彰する。
- ③ 循環器女性医師コンソーシアム(JCS-JJC)
女性循環器医の全国規模での交流を深め、循環器診療と研究の発展に寄与する。

●循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

(1)心臓移植等にかかる事業

1. 心臓移植に関する事業

- ① 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出する。
- ② 心臓移植・心肺同時移植に関する適応検討及び、植込型VAD事後検証を行う。
- ③ 自施設内適応判定により移植された症例の事後検証を行う。
- ④ 心臓移植実施施設間の問題点、今後のあり方について協議を行う。
- ⑤ 日本の心臓移植の状況を世界に発信していくためCirculation Journalにアニュアルレポートを投稿する。
- ⑥ 心臓移植申請症例データベースの構築に向けて検討を行う。
- ⑦ 心臓移植並びに心肺同時移植に係る審議(実施施設の認定審査を含む)を行う「心臓移植・心肺同時移植関連学会協議会」の事務局運営を行う。

(2)広報・啓発事業

1. プレス向け

- ① プレスセミナーの開催
循環器疾患に関する正しい知識や治療について、プレスを通じて広く社会に発信するためにプレスセミナーを開催する。

2. 市民向け

- ① 第84回学術集会市民公開講座(会長企画)
- ② 心臓移植市民公開講座
一般市民に心臓移植医療について理解を深めてもらう。
- ③ 心肺蘇生法市民公開講座
学術集会、地方会で一般市民を対象としてAEDを使用した心肺蘇生法の講習会を開催する。
- ④ AEDの普及啓発活動
AED財団と連携しながら、AEDの普及啓発を行う。
- ⑤ 心筋梗塞についての啓発活動
ホームページを利用した活動を継続して行う。市民向けの情報に加え、啓発活動を行っているモデル地区の発症状況を掲載することにより、学術的な観点から情報を掲載していく。
- ⑥ ファミリー&フレンズコース
主に非医療従事者を対象として、心肺停止に対する初期対応の講習を行う。
- ⑦ 心不全啓発の推進
キャラクター「ハットリシンゾウくん」を用いた心不全啓発キャンペーンを行う。具体的にはポスターの配布や心不全啓発に関する動画を作成し、SNS等を活用して周知を促す。
その他、他学会と共同して心不全治療に関するステートメント作成や、患者向けチェックリストの作成を行う。
- ⑧ 禁煙啓発キャラクターを使用した禁煙啓発活動
各地の市民向けイベントに禁煙相談ブースを設置し、喫煙者への禁煙啓発を促す。また、本会の禁煙推進キャラクター「すわん君」のtwitterを通じて本会の禁煙啓発活動を広く周知する。
- ⑨ 禁煙教材の作成
禁煙パスポート、DVD、ポスターの制作、販売を行う。
- ⑩ Twitterの活用
広くSNSを通じて情報を拡散するために、Twitterを活用した広報を行う。
CR, CJからの論文紹介や地方会、学術集会の中の演題内容やインタビュー投稿などを即時行うことで、常に新鮮な情報を一般、医療従事者、会員問わず発信する。

3. 会員向け

- ① 学会ホームページの運営・リニューアル
会員、一般市民に役立つ情報を学会ホームページに掲載する。会員への情報サービス向上を行う為、ホームページのリニューアルを検討する。

- ② ニュースメールの配信
会員への情報サービスとして学会からの各種お知らせを「JCS News Letter」として配信する。

4. 官公庁等への働きかけ

- ① 診療報酬に関する調査
循環器分野における診療報酬の実態を調査するため、関連学会と協力し診療報酬改定後の影響について調査を行い、要望等を行う。
- ② 循環器救急の実情に関するアンケート調査
診療報酬改定に伴う救急医療への影響を調査する。
- ③ CCU加算に対する働きかけ
CCU独自で診療報酬の加算が取れるよう要望を行う。
- ④ 脳卒中と循環器病対策基本法の成立に伴い、基本計画の素案の立案を厚生労働省へ提出する。

(3)医療事故調査制度

2015年10月から開始された「医療事故調査制度」について、本会は病院での院内調査および医療事故調査・支援センターのセンター調査への専門家の派遣を行うこととなっており、依頼があった場合は専門家を派遣する。

(4)鑑定人推薦依頼

最高裁判所からの鑑定人推薦依頼に専門家を派遣する。

(5)終末期症例登録について

救急医学会、集中治療医学会、循環器学会3学会合同で、終末期症例登録を行う。

●循環器領域に関係する他団体業務の委託

1. 「禁煙推進学術ネットワーク」事務局業務の受託

参画学会の中心メンバーとして他学会との連携強化、5カ年計画の禁煙予防分野としての推進を図る。

●その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 循環器病克服5カ年計画事業

5年間で脳卒中・心血管病による死亡率の5%減少および健康寿命の延伸を目標に、脳卒中・心不全・血管病を重要3疾病と定め、目標達成に向け「人材育成」「医療体制の充実」「登録事業の促進」「予防・国民啓発の促進」「基礎研究の強化」の5戦略を実行するため、我が国と本

会の今後5年間の事業について計画・実行する。また、第2次5カ年計画策定に向け、計画を立てる。

2. 大規模・中規模災害に対する対応

過去に発生した災害をモデルとして、災害発生時に本会や関係団体が取るべき対応をシミュレーションし、検討する。

3. 新会員システムの拡充

会員の学会活動の利便性向上を目的とした会員向けシステムの構築と、学会運営・会員サポート・保守性の維持向上を目的とした事務局・会員管理システムの拡充を継続し推進する。

4. 勤務医師賠償責任保険

本会の勤務医師賠償責任保険を運用する。会員は割引価格で保険に加入でき、本会には医師賠償責任保険料の5%、総合補償保険の3%が収益となる。

5. FJCS制度

会員の学会活動への活発な参画により本会を活性化させるため、フェロー会員の認定を行う。

6. 会員への周知

会員に向けて周知すべき事項を案内するため、会告の2019No.2～No.4・2020 No.1を発刊する。冊子での配布は有償とし、併せてホームページ及びメールにて会員に公開する。